

高規格道路

地権者の補償に全力を

要望を聞きながら取組む



さかもと 坂本 あや 議員

問 高規格道路佐賀大方面は、全国でも厳しい中、関係者の努力の結果事業化となったものだが、ルート見直しの署名活動が起きている。そこには「十分な説明がされていない。議会内でも強く指摘され、ルートを山側に是正するよう活動している」とあるが、議会ではそのようなことはなく事実と違うことを、署名活動をしている協議会へ通知をした。公共事業は難しく、総論賛成各論反対という大

方改良の時と同じ事が起こっている。既にルートが決定した今、地権者にご理解をいただき、ご協力いただければ道路が完成することはない。

法線下にある方々に大変申し訳ないなと思いつつも、ご協力をいただき一日も早くこの「命の道」が完成することを願っている。

安全に、幸せに、地域が元気になるようにとの思いで公共事業は入ってくる。でも、どなたかにご無理を掛けなければならぬ。また、事業が長引けば長引くほど地権者には不安と結果的に補償の上で更なるご迷惑を掛ける。最大限の努力を払っていただきたい。

防災対策も地域の方々が、無償で土地を使っ

もいよとご協力いただき避難道路や避難広場ができた。地域の方々のご協力、それなくして地域は良くなる。そのことを心に留め事業を一生懸命進めていってほしい。

答 金子 まちづくり課長

平成29年4月1日佐賀大方面は新規事業化となり、平成29年8月から測量立ち入りの説明会を地域ごとに開催し本線計画に向けた現地測量を全線で展開し、工事用道路も各関係地区との協議に入っている。

この事業は、国土交通省、高知県、黒潮町ならびに幡多地域近隣市町村とともに取り組んできた事業であり、決定されたルートで住民の方々が安全に使っていただく道路となるよう、地域からの要望もお聞きしながら取り組んでいく。

新国道56号

通学路の安全対策は

開通後に協議

問

新国道56号が開通したが、入野小学校のPTAの方からも通学路についての不安を訴える要望書が提出されており、保護者の皆さんも通学路についての検討が必要ではないかと感じている。

通学路の安全対策は、交通事故だけではなく、子どもたちの命を守ることが通学路に課せられている。保護者を含めて子どもたちそれぞれの通学ルートを把握しておくことは災害時の安否確認にも必要なことであり、協議を急いでほしい。

答 畦地 教育長

新国道ができてからの通学ルートについての検討は、新学期早々、子どもたちの通行状態を見て検討する。

通学中の児童生徒に乗用車が入り込むという事件を踏まえ、平成25年に通学路の交通安全の確保に向けた今後の取り組み、同年12月に通学路の交通安全の確保に向けた着実かつ効果的な取り組みの推進について、文部科学省、国土交通省、警察庁が

ら通知を受け、当町でも基本的方針として通学路の交通安全プログラムや毎年度通学路の安全点検をしている。

【その他の質問】

・各種研修制度について



高規格道路の地区説明会に参加する住民